

推進期間の取り組み結果

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする

「第4次旭市行政改革アクションプラン」に基づき、

歳入の確保や経費節減などに取り組みました。

5年間の効果額は、18億2,916万円となりました。

市税などの収納率の向上

収納率の向上と滞納額の縮減

を目指し、口座振替の推進や自

動音声による電話催告などに加

え、コンビニ納付の勧奨や、ス

マートフォン決済アプリからの

納付を推進するなど、納付手段

を拡大し、納税者の利便性の向

上を図りました。

旭市ふるさと応援寄付の推進

(市外個人分)

令和6年度は12,052件、

192,949千円を受納し、

5年間の合計は39,041件、

675,149千円となりました。

保育所の再編

「旭市立保育所再編計画」を

策定、中央第二保育所とゆたか

保育所を統合し、ふたば保育所

を開所しました。日の出保育所

とともうら保育所の統合では、

令和8年4月の開所に向け、保

護者説明会などを行いました。

学校の再編

「旭市学校再編基本方針」を

策定し、保護者説明会とアン

ケートを行いました。(仮称)干

潟地域小学校(仮称)海上地域

小学校では地域検討会議などを

設置し、(仮称)干潟地域小学校

は令和9年4月に統合、名称を

ひかた椿小学校に決定しました。

マイナンバーカードの活用

令和6年度末時点でのマイナ

ンバーカードの発行枚数は54、

052枚で、交付率は76.3%

となりました。また、住民票や

税証明などのコンビニ交付が始

まり、窓口の混雑緩和につなが

問い合わせ先

行政改革推進課行政改革班

☎62・5345

火災から命を守るため

住宅用火災警報器の設置は義務です

火災をいち早く感知して住民に知らせる警報器は、火災の早期発見の決め手です。設置していない人は、早急に設置しましょう。

火災の現状

令和6年中に発生した全国の住宅火災による死者は1,044人で、そのうち約4割が逃げ遅れによるものです。年齢別では、65歳以上の方が約7割を占めています。

あってよかった火災警報器

火災警報器を設置したことで、大事に至らずに済んだ事例を紹介します。

- 就寝中、掛け布団が電気ストーブに触れて焦げ、寝室の警報器が鳴動。水をかけて大事に至らなかった。
- 寝たばこにより布団から発煙し、寝室の警報器が鳴動。浴槽の水に布団を浸して大事に至らなかった。
- 2階で就寝中、1階の台所から出火し、階段の警報器が鳴動。素早く避難できた。

点検と交換

住宅用火災警報器は、古くなると部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなったり、故障しやすくなったりします。

定期的にボタンを押すかひもを引いて、音が鳴るかを確認し、10年を目安に交換しましょう。

問い合わせ先

消防本部予防課(☎63-5356)

見て感じるパラ卓球の魅力

パラ卓球ナショナルチーム合宿を一般公開

パラ卓球の日本代表選手が、旭市で合宿を行います。パリ2024パラリンピック競技大会に出場した選手も合宿に参加します。

パラ卓球ならではの駆け引きや戦術を見てください。



期間

11月27日(木)～30日(日)

観覧場所

総合体育館 メインアリーナ2階

入場料

無料

その他

参加選手や開始時間など、くわしい内容は、市ホームページでお知らせします。



問い合わせ先

スポーツ振興課スポーツ振興班(☎64-1132)